

## 章炳麟研究文献目録(2)と文献解題

阿 川 修 三

### The Bibliography on the Study of Zhang Binglin V-2 and Its Bibliographical Introduction

Agawa Shuzo

#### ま え が き

本目録は、「章炳麟研究文献目録(1)」(『文教大学文学部紀要』11-2)の続編であり、完結編である。

本目録は、日本語、中国語で書かれた1919年から1997年までの間に公刊された章炳麟に関する文献(単行本、研究論文〔回想文、新たに公開された資料をも含む〕)の内、日本語で書かれた1919年から1997年までの文献と、中国語で書かれた1919年から1997年までの単行本と、1919年から1948年までの論文の目録である。なお、今回は章炳麟の主要著作集およびほとんどの中国語、日本語の単行本には目次を付け、更に日本語の単行本を除いたものの中の主なものには解題を付けた。

1. 本目録を編輯するに至った動機は、既に『文教大学文学部紀要』11-2の「章炳麟研究文献目録(1)」で述べたので、ここでは省略させて頂く。
2. 所録雑誌の一覧を最後に付け、利用者の便を図る予定であったが、紙幅の関係で今回は省略させて頂いた。
3. 本目録に収録した文献の中には国内のどの公的研究機関にも所蔵されていないと思われる雑誌がある程度ある。当初、そのことを何らか

の方法で明記しておくつもりであったが、煩雑さと紙幅の関係から、今回は果たせなかった。後日、増補訂正の機会に譲りたい。

4. 台湾、香港で公刊された論文については、調査が不十分でかなり遺漏があると思うが、後日、増補訂正の機会に譲りたい。
5. 本目録は私一個人の手で作成したものであるため、限界や偏向は免れがたい。従って、本書には、多くの遺漏があるはずだし、この目録では論文を章炳麟著作、回想・伝記資料、研究論文等に分類したが、その取捨選択の基準に曖昧さが生じていることは認めねばならない。どうか御寛恕頂きたい。
6. このような目録には、記載の正確さと文献の網羅とが要求されるのであるが、実物を見るができなかったものもあり、誤りも免れない。お気づきの点があれば、御教示願いたい。将来、増補訂正の機会があれば参考にさせて頂くつもりである。
7. 解題は実物を見て書くことに努めたが、実物を見るができないものについては、湯志鈞の『章太炎年譜長編』に拠った。

## 凡 例

[1] 本目録は章炳麟に関する日本語と中国語の、単行本及び論文を収録したものである。ただし、資料（回想録を含む）の類も収録した。また、文化大革命期のものについては、学術的価値のあると思われるもののみ収録した。日本語の文献は1997年9月までを収録範囲とし、中国語の文献の内、単行本は1997年9月までを、論文は1949年9月までを収録範囲とする。

[2] 本目録の構成は、第一部が中国語の文献、第二部が日本語の文献である。第一部は単行本（章炳麟著作、回想・伝記資料、研究書）と論文（章炳麟著作、著作目録、回想・伝記資料、研究論文）とに分け、第

二部は単行本と論文(資料、研究論文)とに分けて収録した。なお、「章炳麟著作」は単行本は主な著作集を、論文は一部分だけ収録したので、網羅的ではない。章炳麟の著作の全貌は、第一部に収録した、潘承弼等「太炎先生著述目録」初稿、「太炎先生著述目録後編」初稿、沈延国「太炎先生著述目録補遺」と湯志鈞の『章太炎年譜長編』の著作繁年を参照されたい。

また、それぞれの文献には、原則として文献番号、著者、題目・書名、発行所・掲載書、誌、紙、刊行年月日を記した。なお、序列は原則として発行順とした。

[3] 本目録に収録した日本語の単行本及び研究論文は、1994年まではほぼ網羅したが、1995年以降は必ずしも十分ではない。また、中国語の単行本も、1994年まではほぼ網羅したが、1995年以降は必ずしも十分ではない。中国語の論文はかなり網羅したつもりであるが、遺漏があるかもしれない。もし遺漏があれば、御教示頂ければ幸いである。

[4] 本目録作成のために利用した文献は、主に以下のものである。

辛亥革命文献目録(山根幸夫、燎原書店、1983.11)

東洋学文献類目(東洋学文献センター編)

日本中国学会報の学界展望の欄

近代中国関係文献目録(同刊行委員会、中央公論美術出版、1980.2)

近代史研究(中国社会科学院近代史研究所編)の中文論文目録

辛亥革命人物伝記資料索引(復旦大学歴史系資料室編、上海辞書出版社、1990.12)

中国哲学史論文索引[1](方克立等編、中華書局、1986.4)

中国歴史学年鑑(人民出版社)

中国哲学年鑑(人民出版社)

中国史学論文索引第一編、第二編(中国科学院歴史研究所、中国社会

科学院歴史研究所)

中国近現代人物伝記資料索引(東北師範大学図書館、1988.4)

[5] 以下の雑誌、論文集については、略称を用いた。なお、略称を用いた場合は\*を付けた。

(日本語)

中近思会報→中国近代思想史研究会会報

東文研紀要→東京大学東洋文化研究所紀要

学習院東文研報告→学習院東洋文化研究所調査研究報告

塚本論集→塚本善隆博士頌寿仏教史学論集(1961)

森論集→森三樹三郎博士頌寿東洋学論集(1979)

木村論集→木村正雄先生退官記念東洋史論集(1976.12)

[6] 印刷の便宜を図るため、漢字の字体は常用字体を基本とし、無いものは正字を用いた。

[7] 紙幅の関係で、刊行年月日や所載雑誌の巻数、号数は以下のように略記した。

82.5/12 は1982年5月12日を、80-2は1980年第2期を、[12-5]は第12巻第5号を表す。

また、紙幅の関係で、書名、論文名を次のように文献番号で示した場合がある。

論中102は中国語の研究論文で102の文献を、単日1は日本語の単行本で1の文献を表す。

[8] 章炳麟研究文献目録(1)に漏れたものは最後に補遺として収録した。

## 第一部(中国語)

### ○単行本

章炳麟著作

編者	書名	発行所	年月日
1	尨書初刻本	不明	1900
	尨書重訂本	東京翔鸞社	04
	検論（『章氏叢書』）	上海右文社	15

学術性の高い政治・思想論文集である。章炳麟は尨書を二度改訂したため、尨書には三種類の版があり、第三版は書名も検論に改めた。初版は全50篇で尨書初刻本と呼ばれる。それは秘密出版であるため、発行所、刊行年月日が不明であるが、状況を総合すると、ほぼ1900年1月頃刊行されたと見てよい。第二版は全63篇で尨書重訂本と呼ばれる。それは1904年5月に東京で刊行された。第三版は全62篇で検論と呼ばれ、1915年『章氏叢書』の一冊として刊行された。

尨書の改訂過程からは、章炳麟の、変法から革命へ、革命から「伝統」回帰へという、思想の演变を見ることができ、文章は難解ではあるが、章炳麟の思想を研究するための必読の書である。現在、尨書の三種の版本は、校勘、標点され、『章太炎全集(3)』に収められているので、簡単に見ることができる。

なお、初刻本には版本が二種類、即ち初刻本と、弁氏、学隠の二編を補った初刻本補佚本があり、またその原稿本である、尨書原刻手写底本（上海古籍出版社 85.7）がある。重訂本には、1904年初版本、1905年重印本、1906年再版本があるが、再版本が章炳麟自身が校勘を行い、誤植をかなり正し、校勘表まで付け、最もよい版本である。

尨書の編集過程については、『章太炎全集(3)』の朱維錚の前言に詳しいので、参照されたい。

2 静菴	章太炎文鈔	上海中華図書館	14.3
全五卷五冊。『尨書』、『民報』、『国粹学報』の諸文を集めたもの。			

卷一は『民報』期の諸論文(四惑論など)全七編、卷二、卷三は『旭書』重訂本のうち第五十九～第六十三を除く五十八編と原経、均田法の二編、卷四は學術論文(諸子学略論など)十三編、卷五は序文、伝記、書簡、墓誌銘、清代の学者の評論(遺王氏など九編)、『旭書』再版本の第六十、第六十一、第六十三の全三十六編である。

3 錢須弥 太炎最近文録 国学書室 15

発刊辞、論説、書牘、付録の四部構成で全39編。主に、1911年から1913年までに雑誌、新聞に発表した、発刊の辞、宣言文、論説、函電(手紙と電報)を集めたものである。

4 章氏叢書 上海右文社 15

春秋左伝読叙録、劉子政左氏説、文始、新方言〔附嶺外三州語〕、小学答問、説文部首均語、莊子解故、管子余義、齊物論釈、国故論衡、檢論、太炎文録初編

章氏叢書 浙江図書館 19

上海右文社版に、齊物論釈重定本、太炎文録補編、蕓漢微言を加え、文録には収録著作に若干の増減がある。

章氏叢書 上海古書流通処 24

章氏叢書は章炳麟自身の手の入った最初の著作集である。魯迅が「關於太炎先生二三事」で言うように、本叢書(浙江図書館版)には「鬭争之作」、たとえば呉稚暉との論争などは、かなり削除されているものの、また「駁康有為論革命書」をはじめとする革命論や『民報』所載の諸論文(革命道德論など)は文録に収録されている。

章氏叢書の版本には、上記のごとく上海右文社版、浙江図書館版、上海古書流通処の三種の版本がある。そのうち、収録著作は浙江図書館版、上海古書流通処版は同じで、上海右文社版より三種多い。また、上海右文社版、上海古書流通処版はともに誤字がかなりあるが、浙江

図書館版は誤字が少なく、また版が最も鮮明である。故に浙江図書館版が最もよい版本である。

- |   |       |    |       |    |
|---|-------|----|-------|----|
| 5 | 太炎教育談 | 二卷 | 四川觀鑑廬 | 20 |
| 6 | 太炎学説  | 二卷 | 四川觀鑑廬 | 21 |

上巻: 演説記録七編—説新文化与旧文化、説今日青年的弱点、説求学、説真如、説忠恕之道、説道德高于仁義、説職業、説音韻、説自心之思想變遷、下巻: 公開書簡—吳承仁、黃侃、張伽厂、国粹学報社宛

- |   |              |         |      |
|---|--------------|---------|------|
| 7 | 吳齊仁編 章太炎の白話文 | 上海泰東図書館 | 21.6 |
|---|--------------|---------|------|

一留学の目的和方法／二中国文化的根源和近代學術の發達／三常識与教育／四經的大意／五教育的根本要從自国自心發出来／六論諸子の大概／七中国文字畧説／八我的平生弁事方法

この書は、『教育今語雑誌』に掲載された、日本での講演稿を集めたもの。以前から章炳麟の著作ではなく彼の弟子の錢玄同のものだとする説があった。その説を、湯志鈞は『章太炎先生年譜』や「章太炎和白話文」で全面的に否定し、章炳麟の著作であると断定した。彼は、その根拠として、著名な出版人張靜廬からの聞き取り、即ち編者吳齊仁は張靜廬その人であり、張が章炳麟から直接原稿を受け取って彼の許可の下、出版したことを挙げている。

- |   |                  |         |       |
|---|------------------|---------|-------|
| 8 | 曹聚仁記述 国学概論       | 上海泰東図書館 | 22.11 |
| 9 | 張冥飛筆述 章太炎先生国学講演集 | 平民印書局   | 24    |

両書(8.9)は、ともに章炳麟が江蘇教育会の招きに応じて、上海で1922年4月1日から6月17日にかけて合計十回行われた講演の筆記録であるが、内容に若干の相違があり、8の方が詳しい。両書の他に【申報】に筆記録が掲載されたが、両書よりも詳しくない。なお、曹は魯迅と親しく、旧学の素養のあるジャーナリストである。

- |    |          |  |    |
|----|----------|--|----|
| 10 | 太炎先生自定年譜 |  | 28 |
|----|----------|--|----|

1928年に著された、誕生した同治8（1868）年から55歳の民国11（1922）年までの章炳麟自身による年譜である。すぐには出版されず、彼の死後章氏国学講習会から活字本で刊行された。ただし、活字本には若干削除された部分があり、1957年、「近代史資料」に初めて彼の原稿に忠実な活字版が掲載された。後、1965年11月に香港の龍門書店から「章太炎先生事略」「太炎先生自述學術次第」「太炎先生著述目録〔初編・後編・補遺〕」を付録とした『太炎先生自定年譜』が単行本として出版された。なお、この初稿、清書稿、章氏国学講習会版活字本が、『章太炎先生自定年譜（稿本）』として、1986年6月に上海書店から出版された。

- 11 章氏叢書続編 北平刊本 33  
 広論語駢枝、体撰録、太史公古文尚書説、古文尚書拾遺、春秋左氏疑義答問、新出三体石経攷、蕝漢昌言  
 章氏叢書の続編であり、七種の単行本を収める。なお、章氏叢書には三編もあるようだが、収録された著作、刊行年月日については不詳。
- 12 章氏国学講習会講演記録(1～9期) 蘇州章氏星期講演会 35～36  
 章炳麟の蘇州章氏国学講習会での講演記録であり、小学略説、經学略説、史学略説、諸子略説、文学略説から構成されている。これが後に香港、台湾で『国学略説』の名で単行本として刊行された。最近、この講演記録を呉永坤、程千帆が校訂し、傅傑が更に校訂、標点したものが、『国学講演録』[(二十世紀国学叢書)華東師範大学出版社 95.12]の名で刊行された。これが現在最も完備したテキストである。
- 13 太炎文録続編 章氏国学講習会 38
- 14 湯国梨編 章太炎先生家書(影印線装) 中華書局 62  
 章炳麟が袁世凱によって幽閉される直前から釈放される間に、上海



にいる妻、湯国梨に宛てた書簡の影印版である。巻頭に、湯国梨の敘言が付き、収録された書簡は全部で84通、1913年8月11日から1916年6月12日までのものである。この間の章炳麟の心境を知る上で有益である。なお、1985年に洋装本で上海古籍出版社から再版された。

15章太炎著作 章太炎詩文注（上冊） 上海人民出版社 76.6

編注組

16湯志鈞 章太炎政論選集〔上、下〕中華書局 77.11

1895年から1936年までの、章炳麟の、政論即ち政治をテーマとする論文と、政治的主張の現れた演説、宣言文、通電（公開電報）、啓事（新聞に掲載した広示）、書簡、詩文、近代史上の人物の伝記等を集めたものである。構成は、章炳麟の思想活動の時期を、一1895～1905年、二1906～1911年10月、三1911年11月～1936年の三期に分け、一の時期を巻一、二の時期を巻二、三の時期を巻三とし、年月順に並べている。これまで、章炳麟には、政論の、完備した著作集がなく、極めて有用な著作選集である。

17朱維錚、姜 章太炎選集（注釈本） 上海人民出版社 81.9

義華編注

18 章太炎全集(1) 上海人民出版社 82.2

【苜蘭室札記】、【詒經札記】、【七略別録佚文微】

章太炎全集(2) 上海人民出版社 82.7

【春秋左伝説】、【春秋左伝説】敘録、【駁箴膏肓評】

章太炎全集(3) 上海人民出版社 84.7

【尅書】初刻本、重訂本、【檢論】

章太炎全集(5) 上海人民出版社 85.2

【太炎文録初編】

章太炎全集(4) 上海人民出版社 85.9

## 【太炎文録統編】

章太炎全集(6) 上海人民出版社 86.12

【齊物論釈】、【齊物論釈】定本、【莊子解故】、【管子餘義】、【広論語駢枝】、【体撰録】、【春秋左氏疑義答問】

上海人民出版社は中国国内の大学、研究機関、図書館の関係する研究者と蘇州の章家と協力し、章炳麟の著作を整理・校訂・標点し、1982年2月から【章太炎全集】の刊行を開始した。なお現在第六巻で刊行が停止している。巻毎の収録著作は上記のごとくであり、そのうち、第一巻の【膏蘭室札記】、【七略別録佚文微】と第二巻の【駁箴膏肓評】はこれまで未刊で、また第二巻の【春秋左伝説】は私家版のみであった。

## 19 【呉承任旧蔵】章炳麟論学集（影印本）

北京師範大学出版社 82.5

弟子呉承仁宛の師章炳麟の書簡を影印し積文を付けたものである。書簡は1911年10月14日から亡くなる直前の1936年5月24日までの全79通である。内容は、呉が尋ねた学問上の疑問点に答えたもので、章炳麟の学問の深さ、弟子に対する真摯な態度を見ることができるとともに、また彼の政治的見解も垣間見ることができる。なお、積文は著名な書家啓功が付けた。

## 20 章太炎書千字文 上海書画出版社 82.5

## 21 章念馳選 章太炎先生学術論著手跡選 北京師範大学出版社 86.5

蘇州の章家に保存されていた章炳麟の原稿の中から、28編を直系の孫、章念馳が選り影印出版したものである。内容は一専著、二学術論文、三書簡、四碑文、墓誌銘、題辭序文に大別できる。

## 22 黄夏年編 章太炎集・楊度集（近現代著名学者仏学文集）

中国社会科学出版社 95

- 23 姜玢編 章故鼎新的哲理（章太炎文選）  
上海遠東出版社 96.7
- 24 陳平原編 章太炎卷（中国現代學術經典）河北教育出版社 96.8  
『国故論衡』、『檢論』やその他の學術論文に標点符号を付けて、簡体字に改めた、章炳麟の學術論文集である。
- 25 傅傑編 章太炎學術史論集（二十世紀国学名著）  
中国社会科学出版社 97.6

回想・伝記資料

- | 編著者       | 書名   | 発行所    | 年月日   |
|-----------|--|--------|-------|
| 1 汪太冲     | 章太炎外記  | 新新書社   | 24    |
| 2 浙江省図書館編 | 追悼章太炎先生特刊  | 浙江省図書館 | 36    |
| 3 許寿裳     | 章炳麟  | 重慶文信書屋 | 45.1  |
| 4 沈延国     | 記章太炎先生   | 永祥印書館  | 46.6  |
| 5 存萃学社編   | 章炳麟伝記彙編  | 大東図書公司 | 78.12 |
|           | 【章炳麟】 許寿裳／章先生別伝 但寿／太炎先生自定年譜 近代史資料57-1／太炎先生自定年譜補遺 馬叙倫／章太炎年譜 高景成／国学大師章太炎先生 燕京学報[20]／余杭章先生墓誌銘 汪東／太炎先生自述學術次第／蕪漢雅言笥記 但焘   |        |       |
| 6 湯志鈞編    | 章太炎年譜長編 [上、下]  | 中華書局   | 79.10 |
|           | 構成は、第一卷（1868～1894年）、第二卷（1895～1905年）、第三卷（1906年～1911年）、第四卷（1912～1918年）、第五卷（1919～1936年）からなる。各巻の巻頭には、「説明」があり、その時期の国内外の情勢と章炳麟の思想活動を概括する。各年には先ず『自訂年譜』の該当分が取られ、その次に「国内大事（国内の大きな出来事）」が |        |       |

来る。その次が年譜の本文で、関係する文献や章炳麟の著作を全録または抄録することによって、その年の章炳麟の言動を表し、編者の文は少ない。最後に「著作繫年」でその年の著作を示し、単行本、著作集には目次も付け著作目録として有用である。なお、本文で全録または抄録した章炳麟の著作には、未発表のものや稀見のものがかなりあり、大変有用である。

- |   |          |         |           |       |
|---|----------|---------|-----------|-------|
| 7 | 謝櫻寧      | 章太炎年譜摭遺 | 中国社会科学出版社 | 87.12 |
| 8 | 姚奠中他編    | 章太炎學術年譜 | 山西古籍出版社   | 96.8  |
| 9 | 陳平原、杜玲玲編 | 追憶章太炎   | 中国廣播電視出版社 | 97.1  |

全部で98編の回想を収める。その中には、国外では見ることができない地方の文史資料選輯所載の親族、弟子による回想記や日本国内で稀見の『制言』所載の回想などを含み、師としての、また家庭人としての章炳麟の姿を垣間見ることができ、興味深い。

## 研究書

- |   | 編著者 | 書名  | 発行所     | 年月日   |
|---|-----|---|---------|-------|
| 1 | 朱仲玉 | 章太炎（中国歴史小叢書）  | 中華書局    | 61    |
| 2 | 朱仲玉 | 章太炎   | 三聯書店    | 63    |
| 3 | 李淑智 | 章炳麟与辛亥革命  |         | 76    |
| 4 | 張玉法 | 章太炎（中国歴代思想家）  |         | 78    |
| 5 | 唐振常 | 章太炎吳虞論集   | 四川人民出版社 | 81.11 |
|   |     | 論章太炎、【民報】“封禁”事件諸問題を収める。                                       |         |       |
| 6 | 熊月之 | 章太炎（中国近代史叢書）  | 上海人民出版社 | 82.11 |
|   |     | 一埋頭讀書／二維新路上／三分道揚鏞／四“此是中国瑪志尼”／五“要是章炳麟，就是我”／六主編【民報】／七東京講学／八辛亥革命 |         |       |

- 前後／九 “時危挺劍入長安”／十漸入頽唐／十一晚年余暉
- 7 王有為 章太炎伝 広東人民出版社 84
- 8 李潤蒼 論章太炎 四川人民出版社 85.2
- 章太炎是什麼派／章太炎的經濟思想／章太炎的民族主義／章太炎的國粹主義／章太炎的史學觀點和方法／章太炎與【民報】的革命宗旨／章太炎與日本的無政府主義／章太炎與【民報】被封禁事件／章太炎在辛亥革命前後的政治錯誤／章太炎與護法運動／章太炎與“連省自治”／章太炎與四川／章太炎與中日文化交流
- 9 王汎森 章太炎的思想—兼論其對儒學傳統的衝擊  
時報文化出版企業有限公司 初版85.5二版92.3
- 新序／第一章生平／第二章思想背景／第三章與清末今古文之爭／第四章民族思想／第五章社會思想／第六章對儒學傳統的衝擊及影響／第七章結論
- 10 姜義華 章太炎思想研究 上海人民出版社 85.8
- 第一章青年漢學家／第二章要救國，圖維新／第三章走上革命之路／第四章向封建網羅勇猛衝決／第五章【民報】主編／第六章一場夭折了的哲學革命／第七章致力民族文化近代化的巨匠／第八章在“民國”初創的政治旋渦中／第九章“既離民衆，漸入頽唐”的晚年思想與學術
- 11 唐文權、羅福惠 章太炎思想研究 華中師範大學出版社86.7
- 序言／第一章緒論／第二章章太炎前期西學汲引／第三章章太炎的經濟思想／第四章章太炎的政治學說／第五章章太炎的認識論／第六章章太炎的宗教觀／第七章章太炎的仙學思想／第八章章太炎的道德學說／第九章章太炎的經學／第十章章太炎的史學／第十一章章太炎的諸子學／第十二章章太炎對歷代學術的初步總結／後記
- 12 章念馳編 章太炎生平與思想研究文選 浙江人民出版社 86.8
- 章太炎伝略 姜義華／太炎先生二三事 王仲犖／記章太炎先生若干

事 沈延国／章太炎与後期【民報】 金冲及、胡繩武／關於亞洲和親  
会 湯志鈞／論章炳麟和光復会 李時岳／評章太炎的“革命軍起，革  
命党消” 王有為／記先父母章太炎及湯国梨在抗日戰爭中二三事 章  
導／章太炎當葬始末 章念馳／紀念太炎先生 宋雲彬／国父中山先生  
和章太炎先生 許寿裳／從章太炎說到康長素、梁任公 呂思勉／章太  
炎的事業及其与魯迅的關係 島田虔次／章太炎是小資產階級思想家  
林慶元／太炎弟子論述師說 徐一士／章太炎早期的政治觀點和學術思  
想 侯外廬／【尙書】中的機械唯物主義傾向 任繼愈／章太炎与王陽  
明 朱維錚／也談章太炎与王陽明一兼論太炎思想的兩箇世界 孫万国  
／章太炎著作繫年 湯志鈞

13何成軒 章炳麟的哲学思想（中国哲学史叢書）湖北人民出版社87.1

第一章生平事跡与政治思想／第二章哲学思想發展的两大階段／第三  
章前期哲学思想／第四章唯物主義哲学体系／第五章向唯心主義轉变的  
原因

14章念馳 章太炎生平與學術 三聯書店 88.7

余杭章先生墓誌銘 汪東／章先生別伝 但植之／關於太炎先生二三  
事 魯迅／悼念太炎先生時論（兩編）／唁電·輓聯·国葬令／章先生  
學術述略 龐俊／余杭章氏學別記 錢穆／章太炎先生之氣節 潘重規  
／章炳麟之生平及其學術文章 林尹／章炳麟与中華民國 汪榮祖／章  
太炎的科学成就及其對於公羊学派的批判 侯外廬／章炳麟的學術成就  
張玉法／章太炎剖析 李沢厚／章太炎進化觀評析 王煜／【民報】  
中的章太炎 朱泮源／論章太炎的文学思想 吳文祺／辛亥革命前章太  
炎的仙学思想 唐文權／章太炎的相对主義真理觀探索 何成軒／章太  
炎的人性論与近代中国人本主義的命途 姜義華／否定的思想家一章炳  
麟 河田悌一（中国語訳）／從一個日本人的眼睛看章太炎思想 近藤  
邦康（中国語訳）／章太炎的【社会学】 湯志鈞／章太炎道德論初探

羅福惠／章太炎先生的医学見解 廖家興

15章太炎紀念館 先驅的蹤迹 浙江古籍出版社 88

16湯志鈞 改良与革命的中国情懷—康有為与章太炎  
商務印書館（香港）90.6

引言／一中学和西学／二古文和今文／三論学和論政／四改良和革命  
／五【大同書】和【尙書】／六經和史／七保皇和排滿／八共和和復辟  
／九沈淪和頹唐／後記

17何成軒 章太炎評伝（近代史人物評伝）河南教育出版社 90.8

第一章求学時代／第二章参与維新／第三章轉向革命／第四囚繫上海  
／第五章主編【民報】／第六章辛亥前後／第七幽禁京師／第八章奔走  
護法／第九章漸入頹唐／第十章愛國晚節／付録章太炎生平大事年表

18姜義華 章太炎（【世界哲学家叢書】）東大圖書公司 91.3

自序／第一章社会大變革中的搏擊／第二章華夏文化的疏浚与重構／  
第三章中国近代化之路的省察／第四章認知方式的近代分析／第五章章  
氏友朋与章門弟子／年表他

19姜義華 章太炎評伝（【国学大師叢書】）百花洲文芸出版社95.12

自序／英文提要／第一章旧学根柢／第二章新学砥礪／第三章学初創  
／第四章革命方略／第五章章学新階／第六章齊物哲学／第七民初論政  
／第八晚年章学／生平与學術行年／主要参考文献／後記

○論文（1913～1949）

章炳麟著作

著者	題名	掲載誌・紙・書	年月日
1 章炳麟	太炎漫録	国故月刊[3]	19
2 汪吟龍	章太炎論文中子書	实学[1]	26

章炳麟研究文獻目錄(2)と文獻解題

3	廬景純記	章太炎先生講“史学”	国專季刊[ 1 ]	33.5
4	張如愈、	章太炎先生講“經学”	国專季刊[ 1 ]	33.5
	翁衍楨合記			
5	王聯曾	章太炎論今日切要之学	中法大学月刊[5-5]	34.10
6	章太炎	論読經有利而無弊	国風(南京)[6-7,8]	35.4
7	章太炎	再釈読經之異議	国風(南京)[6-7,8]	35.4
8	章太炎	自述學術次第	制言月刊[25]	36.9
9	朱希祖	本師章太炎先生口授少年事跡筆記	制言月刊[25]	36.9
10	諸祖耿	記本師章公自述治学之功夫及志向	制言月刊[25]	36.9
11		章太炎先生學術選(四川来稿)	国学論衡[8]	36.11
12	曾一	章太炎先生論文輯述	文学集刊(四川大学)(1)	43

著作目録

著者	題名	掲載誌・紙・書	年月日
1 潘承弼等	「太炎先生著述目録」初稿	制言月刊[25]	36.9
2 潘承弼等	「太炎先生著述目録後編」初稿	制言月刊[34]	37.2
3 沈延国	「太炎先生著述目録」補遺	制言月刊[36]	
	37.3		

回想・伝記資料

著者	題名	掲載誌・紙・書	年月日
1 黄遠庸	記太炎	遠生遺著	20
2	名人録一章炳麟	国聞週報[2-27]	25.7
3 曹聚仁	章太炎先生	人間世[11]	34.9



4	如是	章太炎世鄒慰丹之獄中生活	中央日報	35.8/6
5	徐一志	關於章太炎	越風[16]	36
6	蔣維喬	中国教育会之回憶	東方雜誌[33-1]	36.1
7	吳稚暉	回憶蔣竹莊先生之回憶	東方雜誌[33-1]	36.1
8	逸雪	唐文圓服膺章太炎	中央日報	36.3/5
9	厲鼎燿	章太炎先生訪問記	國風(南京)[8-4]	36.4
10	馮自由	章太炎事略	逸經[6]	36.5
			(「革命逸史」商務印書館39)	
11	節軒	太炎先生謁問記	中央日報	36.5/9
12	夢蕉	悼章太炎先生	中醫新生命[21]	36.6
13	徐一士	談章太炎(錄述章氏言行)	國聞週報[13-25]	36.6
			(「一士類稿、一士談蒼」書目文獻出版社、84.5)	
14	李道中	悼章太炎先生(附關於太炎先生之文字輯目)		
			文瀾學報[2-2]	36.6
15	蔗園	章太炎先生与革命軍	中央日報	36.6/19
16	曹聚仁	章太炎先生	申報週刊[1-24]	36.6/21
17	病夫	章太炎与宋漁父	中央日報	36.6/30
18	馮自由	章太炎与支那亡国紀念会	逸經[9]	36.7
			(「革命逸史」商務印書館39)	
19	沃了翁	太炎早年身世	武漢日報	36.7/3
20	徐一士	章炳麟被羈留北京軼事雜記	逸經[11]	36.8
			(「一士類稿、一士談蒼」書目文獻出版社、84.5)	
21	徐一士	再記章炳麟被羈留北京時軼事	逸經[12]	36.8
			(「一士類稿、一士談蒼」書目文獻出版社、84.5)	
22	宋雲彬	章太炎	中学生[67]	36.9
23	張仲仁	紀念太炎先生	制言月刊[25]	36.9

章炳麟研究文獻目錄(2)と文獻解題

24	景梅九	悲憶太炎師	制言月刊[25]	36.9
25	許壽裳	紀念先師章太炎先生	制言月刊[25]	36.9
26	曹亞伯	談章太炎先生	制言月刊[25]	36.9
27	沈歺民	記鳳凰山館論學	制言月刊[25]	36.9
28	徐福生	鐵窗感遇記	制言月刊[25]	36.9
29	徐仲蓀	紀念太炎先生	制言月刊[25]	36.9
30	徐復初	追念余杭大師	制言月刊[25]	36.9
31	孫至誠	謁余杭章先生紀語	制言月刊[25]	36.9
32	田桓	譬歎小識	制言月刊[25]	36.9
33	孫至誠	書余杭章先生軼事	制言月刊[25]	36.9
34	吳藹林	太炎先生言行軼錄	制言月刊[25]	36.9
35	劉禹生	章太炎先生在莒錄	制言月刊[25]	36.9
36	唐祖培	太炎大師謁問記	制言月刊[25]	36.9
37	蔣竹莊	章太炎先生軼事	制言月刊[25]	36.9
38	許壽裳	紀念先師章太炎先生	新苗[8]	36.9
39	(徐)一士	章太炎弟子論述師說	國聞週報[13-36]	36.9/14
		(「一士類稿、一士談著」書目文獻出版社、84.5)		
40	陸丹林	章太炎與張之洞	逸經[17]	36.11
41	汪東	余杭章先生墓志銘	制言月刊[31]	36.12
42	(徐)一士	章太炎弟子論述師說(續)	國聞週報[13-48]	36.12/7
		(「一士類稿、一士談著」書目文獻出版社、84.5)		
43	楊仁初	樸學大師章太炎名考	申報	37.1/27
44	許壽裳	章太炎先生革命文獻的一班	新苗[15]	37.3
45	周作人	記太炎先生學梵文事	開明書店月報[1-4]	37.4
46	魯迅	關於章太炎	開明書店月報[1-4]	37.4
		(關於太炎先生二三事. 因太炎先生而想起的二三事、[且		

	介亭雜文末編】〔『魯迅全集』〔6〕人民文学出版社、81〕	
47徐一士	章太炎弟子論述師說（再続）	国聞週報〔14-18〕 37.5/10 （『一士類稿、一士談薈』書目文献出版社、84.5）
48黄季剛	太炎先生行事記	制言月刊〔41〕 37.5
49柳湜	從魯迅先生論章太炎忽而想到	讀書月刊〔1-2〕
50謝汝銓	章太炎之行狀	台湾通志館館刊〔1-3〕 37.12
51章行嚴	伯兄太炎先生五十有六寿序	制言月刊〔48〕 39.3
52朱学浩等	章太炎先生逝世三周年紀念特刊	制言月刊〔53〕 39.5
53余雲岫	余杭章師逝世三周年追憶	制言月刊〔53〕 39.5
54潘承弼	章公問業記略	制言月刊〔53〕 39.5
55周作人	記太炎先生学梵文事	秉燭談（北新書局） 40
56高景成	章太炎年譜（1868—1936）	文学年報〔7〕 41.6
57蔗園	樸学大師章太炎故宅訪問記	中日文化〔1-4〕 41.7
58馮自由	記章太炎与余訂交始末	革命逸史(2)（商務印書館） 43
59馮自由	章太炎陰司聽訟述異	革命逸史(2)（商務印書館） 43
60王興尚	章炳麟与鄒容	新建設（広州）〔4-1〕 43.4
61王森然	章太炎先生評伝	中国公論〔10-1～5〕43.10～44
62徐一士	太炎瑣話	古今〔52〕 44.8
63朱僕	懷余杭章太炎先生	勝流〔4-7〕 46.
64朱鏡宙	章太炎先生軼事	文教叢刊〔1-5,6〕 46.11
65邱漢生	太炎大師之遺稿及其他	讀書通訊〔121〕 46.11
66友琴	章太炎晚年的憤慨	東南日報 47.8/23
67但焘	章（太炎）先生別伝	国史館館刊〔1-1〕 47.12
68錢大成	章太炎逸事	申報 48.4/9
69蕤軒	章太炎与張之洞	子曰叢刊〔2〕 48.6
70錢基博	太炎講学記	子曰叢刊〔2〕 48.6

## 研究論文

著者	題名	掲載誌・紙・書	年月日
1 寿朋	章太炎与袁慰廷	国民雜誌[1-3]	13
2 梁啓超	章炳麟 清代學術概論第二十八章商務印書館		21.2
3 呂澂	答章太炎先生論仏理書	民鐸雜誌[3-2]	22.2
4	章太炎之國憲意見	太平洋(上海泰東)[3-8]	22.12
5 胡樸安	与章太炎論三体石經書	国学週刊[29]	23
6 鉄郎	評章太炎的『国学概論』(上中下) 学灯(上海『時事新報』副刊)[5-1]		23.1/3,4,5
7 陳独秀	章炳麟與民国	嚮導[1-39]	23.9
8 耿光	章太炎の聯省自治論 覚悟(上海『民国日報』副刊)		24.11/8
9 汪荣宝	与太炎論音之爭	甲寅週刊[1-5]	25
10 歐陽竟无	難『葑漢微言』成内色義	中国大學季刊[1-2]	26
11 繆篆	「訂孔」篇注	華国月刊[2-11,3-1]	26
12 孤桐	与章太炎書	国聞週報[3-31]	26.8/15
13 不矢	写給章太炎先生的一封信公開書	鞭策[1-25]	32
14 徐祖蔭	章太炎文學論略評論	滬大月刊[2-3・4]	34
15 杜繼周	章太炎之古韻学	学風[4-9]	34
16 管雄	讀章炳麟教學弊論	浙江省立圖書館館刊[4-5]	35
17 郭湛波	章炳麟『近五十年中国思想史』第二篇(5) 北平人文書店		36
18 張江裁	章太炎先生學術述略	国学論衡[11]	36
19 夏一峰	章太炎學術述略	圖書展望[1-9]	36.6
20 李植	余杭章先生事略	華西學報[4]	36.6
21 龐俊	章太炎先生學術述略	華西學報[4]	36.6
22 沈訥	章炳麟之政治思想	国專月刊[3-5]	36.6

23	太華	從我國學者之死說到章太炎	循環報(香港)	36.6/17
24	曹聚仁	章氏之學	新聞報	36.6/27
25	清耀	書章太炎先生	申報	36.6/29
26	李源澄	炳麟先生學術述要	中心評論[17]	36.7
27	乃蒙	章太炎的講學	宇宙風[22]	36.8
28	白河	章炳麟與高爾基之死	中華月報[4-8]	36.8
29	貝琪	章太炎先生之史學	東方雜誌[33-6]	36.8
30	卞敬業	章太炎辨性篇贅言	國專月刊[4-2]	36.10
31	毛子水	章太炎先生重訂三字經	益世報·讀書週刊(天津)	36.10/22
32	錢賓四	(穆)對於章太炎學術的一箇看法	史學消息[1-3]	36.12
33	黃家遵	清末兩位社會學的先鋒—嚴幾道與章炳麟	社會研究季刊[1-3]	37
34	紀玄冰 (趙紀彬)	章太炎的宇宙根源論及其唯物論「平議」	文化雜誌[3-1]	42
35	朱遜先	章太炎先生之史學	文史雜誌[5-11,12]	45
36	侯外廬	章太炎基於「分析名相」底經史一文論	中山文化季刊[2-2]	45
37	侯外廬	章太炎關於民族、民主的政治	民主世界[2-6]	45.3
38	周振甫	章太炎文章論	國文月刊[49]	46.11
39	侯外廬	章太炎的科學成就及其對於公羊學派的批判	近代中國思想學說史第三編第十五章	生活書店 47.5
40	侯外廬	反映十九世紀末葉社會全貌太炎哲學思想	近代中國思想學說史第三編第十六章	生活書店 47.5
41	吳景賢	章太炎之民族主義史學	東方雜誌[44-4]	48.4
42	洪煥椿	近代的兩個學術大師王靜安和章太炎先生	讀書通訊[157]	48.5

43王叔岷 章太炎『莊子解故』正誤 文史雜誌[6-3] 48.10

## 第二部（日本語）

## ○単行本

- | 著訳者          | 書名  | 発行所     | 年月日                |
|--------------|---|---------|--------------------|
| 1 高田淳        | 章炳麟・章士釗・魯迅-辛亥の死と生と<br>第一章戊戌・庚子前後の章炳麟の思想／第二章辛亥後の章炳麟／第三章章炳麟・章士釗・魯迅／あとがき   | 龍溪書舎    | 74.9               |
| 2 高田淳        | 辛亥革命と章炳麟の齊物哲学<br>はじめ／Ⅰ章炳麟と仏学／Ⅱ章炳麟の道家論／Ⅲ『齊物論釈』の思想／Ⅳ『齊物論釈』以後／辛亥革命と齊物の哲学／章炳麟の戴震論／あとがき  | 研文出版    | 84.11              |
| 3 近藤邦康・湯志鈞   | 中国近代の思想家<br>湯志鈞の辛亥革命和章太炎 [報告原稿]. 章太炎和孫中山. 辛亥革命前夕の章太炎. 章太炎在台湾の日本語訳、近藤邦康の論日   | 岩波書店    | 85.10<br>43.<br>44 |
| 4 湯志鈞（児野道子訳） | 近代中国の革命思想と日本<br>湯志鈞論文集 [日本語訳]。その内章炳麟関係は、康有為、章太炎の流亡日本 [書き下ろし]. 章太炎的“参与投壺”. 章太炎的『社会学』. 関于亚洲和親会. 章太炎挽孫中山聯弁偽. 章太炎和館森鴻. 章太炎的‘割辮’和「解辮髮」. 從『旭書』的修訂看章太炎的思想演变. | 日本經濟評論社 | 86.11              |

## ○論文

## 資料

著訳者	題 名	掲載書・誌・紙	年月日
1 棲庵道人	章太炎を訪う	日本及日本人[566]	11
2 芥川龍之介	章炳麟氏(上海遊記)	支那遊記	29
	(『芥川龍之介全集』[8]岩波書店)		96)
4 豊田穰	「章太炎の白話文」について	中国文学月報[21]	36
4 七理重恵	老儒章太炎を悼みて	同仁[10-9]	36
5 沢村幸夫	章炳麟翁追憶	満蒙[17-8]	36
6 中国文化研究会同人	章炳麟—資料解題—	大安[5-9]	59
7 中国近代思想史研究会	章太炎研究文献目録	中近思会報[5]*	60
8 荒木見悟	『齊物論釈』訓註 哲学年報(九大文学部)[29]~[31]		
	(『中国思想史の諸相』中国書店89.5)		70.3~72.3
9 河田悌一	書評高田淳著『章炳麟・章士釗・魯迅—辛亥の死と生』		
	史学雑誌 [ 84-7]		75.7
10 久保田文次	最近の中国における章炳麟研究の動向		
	歴史評論 [ 342 ]		78
11 高田淳	いまの中国の章炳麟論	学習院東文研報告[4]*	78
12 滝沢誠	権藤成卿と章炳麟の交遊		
	—筆談録をめぐって日本歴史[399]		80
13 大八木章文	中国における最近の章炳麟研究の動向	史朋[12]	81
14 阿川修三	『台湾日日新報』所載章炳麟論文について		
	中国文化 (漢文学会会報)[40]		82.6

## 研究論文

著訳者	題 名	掲載書・誌・紙	年月日
1 金陵生	人物評論—支那革命党章炳麟—	日本及日本人[454]	07

章炳麟研究文献目録(2)と文献解題

2	長維生	学林と章太炎	日本及日本人[562]	11
3	岡崎文夫	思想家としての章炳麟	芸文[7-11]	16
4	本田成之	章炳麟の学説	芸文[8-2,3]	17
5	小島祐馬	章炳麟の「非黄」を読む	支那学[1-3]	20
			(「中国の社会思想」筑摩書房67)	
6	中村忠行	章太炎先生と台湾	華僑文化[23]	50
7	小野川秀美	章炳麟の民族主義	東洋史研究[13-1.2.3,14-3]	54~55
			(「清末政治思想史研究」みすず書房 68)	
8	中山久四郎	章炳麟と日本人	斯文[22]	58
9	島田虔次	章炳麟について		
			-中国伝統学術と革命-思想[408,409]	58
			(「中国革命の先駆者たち」筑摩書房 65)	
10	和田恒	公判廷における章炳麟	歴史研究(都立大学)	58-4
11	伊東昭雄	章炳麟の思想-「無」の立場について-	一橋論叢[44-6]	60
12	小野川秀美	章炳麟の「演説録」	塚本論集*	61
13	近藤邦康	章太炎思想ノート	中近思会報*[12]	61
14	星野元男	章太炎の「民族主義」の根底	中近思会報*[13,14]	61
15	伊東昭雄	章太炎の革命思想と辛亥革命-代議制批判を中心に-		
			現代中国[37]	62
16	近藤邦康	章炳麟における革命思想の形成		
			-戊戌変法から辛亥革命へ-東文研紀要*[28]	
			(「中国近代思想史研究」勁草書房81)	62
17	藤谷博	章炳麟の代議制論について	阪大法学[49]	64
18	近藤邦康	章炳麟と孫文-徳と知-	近代中国の思想と文学	67
19	橋本高勝	章炳麟の喪服論	待兼山論叢[1]	67
20	橋本高勝	章炳麟の儒行論	日本中国学会報[20]	68



21高田淳	戊戌・庚子前後の章炳麟の思想－「革政」から「革命」へ 東文研紀要* [50] (単日1) 70
22高田淳	師道について－章炳麟と魯迅－ 理想[464](単日1) 72
23佐藤広金	章炳麟の「革命道德論」を読んで－章炳麟研究に関する ノート－ 学習院史学[10] 73
24山田勝美	章炳麟の人と学問 漢文教室[109] 74
25大八木章文	章炳麟の印度論 史朋[1] 74
26海老谷尚典	章炳麟の左伝観－『春秋左伝読敘録』を中心に 哲学 (広島)[28] 76
27今井悦子	「五無論」に顕れている章炳麟の革命的人間像 明大大学院紀要(政経)[14] 76
28久保田万次	辛亥革命前における章炳麟と同盟会との関係 木村論集* 76.12
29市川章	章太炎の排満革命思想の特質－1903年までの思想－ 二松学舎大学人文論叢[13] 78
30河田悌一	否定の思想家章炳麟『辛亥革命の研究』(筑摩書房) 78 (『中国近代思想と現代』研文出版、87.4)
31南本義一	章炳麟の「革命道德説」について哲学 (広島)[30] 78
32南本義一	章炳麟における革命論の体系の成立－「演説」(1906)について－ 福岡女子短大紀要[16] 78
33高田淳	章炳麟思想の変化について 『全釈漢文大系』《韓非子》下、月報[29]集英社 78
34海老谷尚典	「依自不依他」の思想－章炳麟の宗教観－ 哲学 (広島)[31] 79
35小林武	章炳麟をよむ－ことば、そして世界－森論集* 79
36海老谷尚典	章炳麟における種族革命と無政府主義

- 哲学 (広島)[34] 82
- 37小林武 章炳麟について—方法としての言語—  
京都産業大学論集[12-2] 82
- 38高田淳 章炳麟の「斉物」の哲学 学習院東文研報告\* [14]82  
(単日2)
- 39阿川修三 戊戌政変直後の章炳麟—新資料『台湾日日新報』  
所載論文を中心に現代中国[56] 82.7
- 40原島春雄 章太炎における学術と革命—「哀」から「寂漠」まで—  
思想[1983-6] 83.6
- 41海老谷尚典 章炳麟における種族主義の形成—戊戌以後、蘇報案に  
かけての理論 東洋文化(無窮会)[51] 83.7
- 42佐藤豊 章炳麟進化論ノート 猫頭鷹[2] 83.12
- 43近藤邦康 中国人の章炳麟論をめぐる二、三の問題 84.2  
社会科学研究[35-5](単日3)
- 44近藤邦康 一日本人の眼から見た章炳麟の思想 84.2  
社会科学研究[35-5](単日3)
- 45大久保隆郎 章炳麟と『論衡』 福大史学[37] 84.3
- 46河田悌一 章炳麟・孫文・康有為をめぐって  
中国歴史学の新しい波(霞山会) 85.2  
(『中国近代思想と現代』研文出版 87.4)
- 47河田悌一 文人革命家『章炳麟シンポ』に参加して  
朝日新聞夕刊 86.8/19(『中国近代思想と現代』)
- 48河田悌一 章炳麟は静かな学者 読売新聞夕刊(大阪) 86.10/15  
(『中国近代思想と現代』)
- 49有田和夫 章炳麟の廖平評価をめぐって 東方学[71] 86.1
- 50坂元ひろ子 章炳麟の個の思想と唯識仏教

—中国近代における万物一体論の行方—

		思想[1986-9]	86.9
51河田悌一	章太炎に対する魯迅と芥川龍之介の評価 —章太炎は「退いて静かな学者」になったのか— 中国研究集刊[4] (黄号)		87.4
52佐藤豊	章炳麟「三性説」の諸側面	猫頭鷹[6]	87.9
53莊光茂樹	章炳麟について—民族言語論と詩賦— 研究紀要 (日本大学経済学部)		87.10
54海老谷尚典	章炳麟の「検論、原教篇」について(1) 哲学 (広島)[40]		88.10
55金樞	章炳麟の変法運動時期	文研会紀要 [創刊号]	88.12
56小林武	章炳麟の歴史記述をめぐって	東方学[82]	91.1
57末岡宏	章炳麟の經学に関する思想史的考察 —春秋学を中心として—	日本中国学会報[43]	91.10
58小林武	章炳麟における「我」の意識—清末の任侠(4) 京都産業大学論集[24-1]		94.3
59阿川修三訳 陳平原著	經学と諸子学の方法をめぐる章炳麟と胡適の論争につ いて [「章太炎與胡適之于經学、子学方法之爭」](上)	文教大学文学部紀要[8]	95.2
60阿川修三訳 陳平原著	經学と諸子学の方法をめぐる章炳麟と胡適の論争につ いて [「章太炎與胡適之于經学、子学方法之爭」](下)	文教大学文学部紀要[9-1]	95.9
61小林武	章炳麟—「国学」=文化の対抗と常民世界への眼差し しにか		96-8

補遺(中国語、論文編[1949~97])

著者	題名	掲載書・誌・紙	年月日
1 任鴻雋	記章太炎先生	文史資料選輯[8]	61.8
2 湯志鈞	從「尅書」的修訂看章太炎的思想演變	江海學刊	62-10
3 屈万里	章太炎贈丁鼎丞先生詩卷後記	伝記文學[23-4]	73.10
4 陳存仁	章太炎面折劉半農	大成[20]	75.7
5 林尹	「章炳麟之生平及其學術文章」後記	孔孟月刊[14-11]	76.7
6 薛慧山	國學大師章太炎	芸海雜誌[24]	79.4
7 陳存仁	章太炎師門的晨課	芸海雜誌[26]	79.6
8 湯志鈞	關於亞洲和親會	辛亥革命史叢刊[1]	80.9
9 湯國梨	太炎先生軼事簡述	蘇州文史資料選輯[7]	81.7
10 管勁丞	章太炎民國元年在南通	南通文史資料選輯[1]	81.9
11 章念馳	章太炎營葬始末	上海文史資料選輯	82-2
(「章太炎生平与思想研究文選」)			
12 任啓聖	章太炎晚年在蘇州講學始末	文史資料選輯[94]	84.4
13 沈延國	章太炎先生在蘇州	蘇州文史資料選輯[12]	84.9
14 鄒立人	我的外太公章太炎二、三事	杭州文史資料[4]	84.10
15 章發	我的母親章王氏	杭州文史資料[5]	85.6
16 李潤蒼	章太炎与“連省自治”		
	近代中國人物[2](近代史研究專刊)		85.9
17 佟立容	記先外祖父陳千与章太炎先生的交往		
		文史資料選輯[24]	85.9
18 徐鳳晨	章炳麟 中國近代愛國人物	吉林文史出版社	85.10
19 諸祖耿	太炎先生「國學講演錄」序	文教資料[4]	86
20 章導	記先父母章太炎、湯國梨在抗戰中二三事		

- 21楊樹達 【太炎先生書札】跋  
【積微居友朋書札】湖南教育出版社86.7
- 22王有為 章太炎与【民報】  
近代中国人物[3]（近代史研究專刊）86.10
- 23郭朋ほか 章太炎的弘学思想 【中国近代弘学思想史稿】第十四章  
巴蜀書社 89.10
- 24陳存仁 師事国学大師章太炎 伝記文学[58-6] 91.6
- 25湯炳正 憶太炎先生 中国文化[8] 93.6
- 26楊向奎 章炳麟《余杭学案》【清儒学案新編】[6]齊魯書社 94.3
- 27錢鼎澄 追憶章太炎師生主弁“蘇州章氏国学講習会”  
顧国華輯録【文壇雜憶】卷十三 94.12
- 28周策縱 論章炳麟梁啓超墨迹积文書 學術集林[10] 97.8